

## 令和6年度人権に関するポスターコンクール審査講評(最優秀賞)

### (全体の部)

友達と一緒に並んだり遊んだりしている様子が画面全体にのびのびと表されています。

様々な色のクレパスや太さの違うペンを使って表情や動きなどが生き生きと表された線描や青と黄色を中心とした鮮やかな色彩など明るく楽しい感じが伝わってきますね。「みんな友だち」に込められた思いや願いがよく伝わってくる作品です。

### (小学校低学年の部)

自分とお母さんがふれあう姿が画面いっぱい大きく描かれています。

のびやかな線描とやさしい色使い、キャッチコピーや周りのハートマークもあいまって、見ている人も自然とあたたかい気持ちになりますね。心を通わせながらお互いに大事な存在を思いやる日常の姿が感じられる作品です。

### (小学校中学年の部)

たくさんの人々が手をつないで輪になった様子が中央に描かれ、たくさんの花も描かれて楽しい感じが伝わってきます。太い線で強調されたキャッチコピーと象徴的に描かれたとりあう手も上手く配置されるなど構図もよく工夫されています。思いやりの花いっぱいの社会をみんなで作っていきたくになりますね。

### (小学校高学年の部)

実現したい幸せな世界の具体的な場面をうまく組み合わせて表現されています。

画面構成が工夫されていて、水彩絵の具を適切に扱って、色彩豊かに丁寧に仕上げられています。地域社会まで目を向けた見応えのある作品です。

### (中学校の部)

一人ひとりの豊かな個性を色とりどりの野菜に見立てたユーモアあふれる作品です。

野菜たちが表情も豊かで、それぞれの個性を認め合うことで、さらに心豊かになれることを上手に表現しています。また、彩色も大変美しく、野菜の鮮やかな色や陰影の付け方が工夫されていて野菜の質感や立体感がよく表現されています。今にも野菜たちの楽しそうな声が聞こえてきそうな作品です。

### (高等学校の部)

個性的なキャラクターたちが印象的な作品です。

表情も格好もすべて違う描き方がされており、一人ひとりが何を言おうとしているのか考えながら見ていると「貴方はあなた」、「私はわたし」という言葉が本当に聞こえてくるようでした。また、CGで作成された作品であり、パソコンなどを使った表現の豊かさや可能性を大いに感じることもできる作品です。

(特別支援学校の部)

画面いっぱいたくさんの顔と大きく手が描かれていてインパクトがあります。

のびのびとした線描や周りのあたたかい色使いから友だちを大切に思う気持ちが伝わってきます。見れば見るほど心を揺さぶらせてくれる作品です。

(一般の部)

互いの個性を認め合う社会が調和のとれた色彩で美しく表現されている作品です。

一つ一つの文字を積み上げながら言葉を完成させていく姿から、一人一人が個性を尊重することでより良い社会を築いていくことの大切さが伝わってきます。丁寧に描かれた作品から作者の優しさと人権尊重への強い思いが伝わってきます。